

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成26年6月19日 (2014.6.19)

【公開番号】特開2013-202359(P2013-202359A)
 【公開日】平成25年10月7日 (2013.10.7)
 【年通号数】公開・登録公報2013-055
 【出願番号】特願2012-78056(P2012-78056)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 0 4 Z

【手続補正書】

【提出日】平成26年4月30日 (2014.4.30)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

当りか否かの当り抽選に当選した場合、当り遊技の終了後に当該当り遊技に基づく所定の遊技状態へ移行する遊技機において、

前記遊技状態は、前記当り抽選の当選確率を高確率状態へ移行させる確率変動状態の有無と、遊技球の入球を契機に前記当り抽選の抽選結果を報知する図柄変動ゲームの始動条件を付与する始動入賞口への入球率を向上させる入球率向上状態の有無と、の組み合わせによって複数種類に分類することができ、

前記当り遊技終了後に移行した遊技状態は、当該遊技状態に定められた移行条件の成立によって他の遊技状態へ移行し、

前記当り抽選に当選した場合に当該当選時の遊技状態と当該当選によって付与される当り遊技の種類をもとに前記当り遊技終了後に移行させる遊技状態を示す遊技状態情報を特定するとともに、前記移行条件の成立によって移行させる遊技状態を示す遊技状態情報を特定する状態特定手段と、

前記状態特定手段の特定した遊技状態へ移行させる状態移行手段と、

遊技演出の演出態様を定める複数種類の演出モードから何れかの演出モードを設定することができ、前記遊技状態情報をもとに当該遊技状態情報に定められた演出モードを設定するモード設定手段と、

遊技機に供給される電源電圧が所定値以下となった場合、バックアップ処理を実行して、遊技機に関する各種情報をバックアップ情報として記憶手段に記憶させるバックアップ手段と、を備え、

前記状態特定手段は、前記確率変動状態の有無と前記入球率向上状態の有無によって分類される同一の遊技状態において異なる遊技状態情報を特定することができ、

前記モード設定手段は、前記同一の遊技状態において前記状態特定手段が特定した遊技状態情報をもとに異なる演出モードを設定することができるとともに、遊技機に供給される電源電圧が所定値以上となった場合、前記バックアップ手段が前記バックアップ情報として記憶させた前記遊技状態情報をもとに前記電源電圧が所定値以下となる前の前記演出モードを設定することを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

前記当り抽選の抽選結果をもとに、前記図柄変動ゲームの演出内容を特定する変動パターンを決定する変動パターン決定手段と、

複数種類の変動パターンから構成されるパターンテーブルを、複数種類のパターンテーブルの中から決定するパターンテーブル決定手段と、を備え、

前記パターンテーブル決定手段は、移行した遊技状態の種類と当該遊技状態へ移行してから実行された図柄変動ゲームの回数に応じて、パターンテーブルを決定し、

前記変動パターン決定手段は、前記パターンテーブル決定手段により決定されたパターンテーブルを参照して、前記当り抽選の抽選結果をもとに変動パターンを決定し、

前記バックアップ情報には、前記遊技状態情報に加えて、前記遊技状態へ移行してから実行された図柄変動ゲームの回数と、を含むことを特徴とする請求項１に記載の遊技機。

【**手続補正２**】

【**補正対象書類名**】明細書

【**補正対象項目名**】０００７

【**補正方法**】変更

【**補正の内容**】

【**０００７**】

上記問題点を解決するために、請求項１に記載の発明は、当りか否かの当り抽選に当選した場合、当り遊技の終了後に当該当り遊技に基づく所定の遊技状態へ移行する遊技機において、前記遊技状態は、前記当り抽選の当選確率を高確率状態へ移行させる確率変動状態の有無と、遊技球の入球を契機に前記当り抽選の抽選結果を報知する図柄変動ゲームの始動条件を付与する始動入賞口への入球率を向上させる入球率向上状態の有無と、の組み合わせによって複数種類に分類することができ、前記当り遊技終了後に移行した遊技状態は、当該遊技状態に定められた移行条件の成立によって他の遊技状態へ移行し、前記当り抽選に当選した場合に当該当選時の遊技状態と当該当選によって付与される当り遊技の種類をもとに前記当り遊技終了後に移行させる遊技状態を示す遊技状態情報を特定するとともに、前記移行条件の成立によって移行させる遊技状態を示す遊技状態情報を特定する状態特定手段と、前記状態特定手段の特定した遊技状態へ移行させる状態移行手段と、遊技演出の演出態様を定める複数種類の演出モードから何れかの演出モードを設定することができ、前記遊技状態情報をもとに当該遊技状態情報に定められた演出モードを設定するモード設定手段と、遊技機に供給される電源電圧が所定値以下となった場合、バックアップ処理を実行して、遊技機に関する各種情報をバックアップ情報として記憶手段に記憶させるバックアップ手段と、を備え、前記状態特定手段は、前記確率変動状態の有無と前記入球率向上状態の有無によって分類される同一の遊技状態において異なる遊技状態情報を特定することができ、前記モード設定手段は、前記同一の遊技状態において前記状態特定手段が特定した遊技状態情報をもとに異なる演出モードを設定することができるとともに、遊技機に供給される電源電圧が所定値以上となった場合、前記バックアップ手段が前記バックアップ情報として記憶させた前記遊技状態情報をもとに前記電源電圧が所定値以下となる前の前記演出モードを設定することを要旨とする。

【**手続補正３**】

【**補正対象書類名**】明細書

【**補正対象項目名**】０００８

【**補正方法**】変更

【**補正の内容**】

【**０００８**】

請求項２に記載の発明は、請求項１に記載の遊技機において、前記当り抽選の抽選結果をもとに、前記図柄変動ゲームの演出内容を特定する変動パターンを決定する変動パターン決定手段と、複数種類の変動パターンから構成されるパターンテーブルを、複数種類のパターンテーブルの中から決定するパターンテーブル決定手段と、を備え、前記パターンテーブル決定手段は、移行した遊技状態の種類と当該遊技状態へ移行してから実行された図柄変動ゲームの回数に応じて、パターンテーブルを決定し、前記変動パターン決定手段

は、前記パターンテーブル決定手段により決定されたパターンテーブルを参照して、前記当たり抽選の抽選結果をもとに変動パターンを決定し、前記バックアップ情報には、前記遊技状態情報に加えて、前記遊技状態へ移行してから実行された図柄変動ゲームの回数と、を含むことを要旨とする。

【手続補正４】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０１７９

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０１７９】

（イ）前記主制御手段は、前記入球率向上状態付与手段によって付与される入球率向上状態の付与期間を決定する入球率向上状態付与期間決定手段と、をさらに備え、前記入球率向上状態は、前記入球率向上状態付与期間決定手段が決定した付与期間が終了した場合に、終了し、前記入球率向上状態付与期間決定手段は、前記大当たり判定手段の判定結果が肯定の場合、前記大当たり判定手段によって決定された大当たり遊技の種類、及び前記大当たり判定手段による判定時における確変状態の有無、及び前記大当たり判定手段による判定時における入球率向上状態の有無に基づいて、入球率向上状態の付与期間を決定する。

【手続補正５】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０１８０

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０１８０】

（ロ）前記入球率向上状態信号には、少なくとも大当たり終了時に出力される第１入球率向上状態信号と、大当たり終了時又は大当たり終了後、予め決められた規定回数の図柄変動ゲームが実行された際に出力される第２入球率向上状態信号が含まれる。

【手続補正６】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０１８１

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０１８１】

（ハ）前記大当たり判定手段の判定結果が否定の場合、前記図柄変動ゲームが小当たりとなるか否かを判定する小当たり判定手段をさらに備え、前記非入球率向上状態信号出力手段は、非入球率向上状態であるときに、前記小当たり判定手段の判定結果が肯定となった場合、前回の小当たり遊技終了後から実行された図柄変動ゲームの実行回数に基づいて、非入球率向上状態信号を選択する。

【手続補正７】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０１８２

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０１８２】

（ニ）予め決められた確変付与条件が成立した場合、大当たり遊技終了後から所定回数の図柄変動ゲームが行われるまで又は次の大当たり遊技が付与されるまでの間、前記大当たり判定手段の判定結果が肯定となる確率を通常確率から高確率とする確変状態を付与する確変付与手段を備え、前記入球率向上状態信号出力手段は、前記大当たり判定手段の判定結果が肯定の場合、前記大当たり遊技決定手段によって決定された大当たり遊技の種類と、前記大当たり判定手段による判定時における確変状態の有無及び前記大当たり判定手段による判定時における入球率向上状態の有無の少なくとも何れか一方の付与状況に基づいて、複数種類の

入球率向上状態信号から入球率向上状態信号を選択し、選択した入球率向上状態信号を出力し、前記非入球率向上状態信号出力手段は、前記大当り判定手段の判定結果が肯定の場合、前記大当り遊技決定手段によって決定された大当り遊技の種類と、前記大当り判定手段による判定時における確変状態の有無及び前記大当り判定手段による判定時における入球率向上状態の有無の少なくとも何れか一方の付与状況に基づいて、複数種類の入球率向上状態信号から非入球率向上状態信号を選択し、選択した非入球率向上状態信号を出力する。